

総合図書館 清教リブラリア

2022 年度 事業報告

- ・ 中3 卒業論文研究発表会 対面発表再開
- ・ 「Library of the Year」(IRI) 推薦と一次選考突破
- ・ リブラリアの取組が放送大学の映像授業教材に
- ・ リブラリアの「蔵書年齢」を調べてみた(巻末特集)



中学3年「卒論研究発表会」4年ぶりに対面発表を再開(p.2)



「中・高生による探究の集い」出場(p.11)



リブラリアの実践が放送大学の映像教材に(p.2)



「図書館を使った調べる学習コンクール」入賞(p.10)



清教学園中・高等学校 図書館教育
2023年6月23日



さて、イエスは悪魔から誘惑を受けるため、“霊”に導かれて荒れ野に行かれた。そして四十日間、昼も夜も断食した後、空腹を覚えられた。すると、誘惑する者が来て、イエスに言った。「神の子なら、これらの石がパンになるように命じたらどうだ。」イエスはお答えになった。

「『人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる』と書いてある。」

マタイによる福音書(4章1-4節)

目次

I	トピックス	p. 2
	清教学園リブラリアが「Library of the Year 2022」の第二次選考対象に 高校生への資料支援が放送大学の映像授業教材に 卒業論文研究発表会(中学) 4年ぶりの対面発表会を実施	
II	施設概要	p. 3
III	資料統計	p. 4
IV	利用統計	p. 6
V	2022年度の記録	p. 10
	第26回 図書館を使った調べる学習コンクール 受賞 第7回 大阪府中高生ビブリオバトル大会(高校生大会)出場 中・高生による探究の集い 2022 コンテスト部門出場 授業実践をまとめた『マイテーマの探し方』(ちくま書房)の中国語訳出版が決定 「ちいさいおはなし会」から「おはなし会へ」(5年目) 宗教部・リブラリア共催「クリスマス会」実施 学級文庫「すくどの本」、高校へ(3年目) 高校「朝の読書」にて「出張おためし読書」を実施(2年目) 全国の学校図書館との連携行事「ほんトーク」実施(3年目)	
VI	課題	p. 19
VII	図書館リブラリアの歩み	p. 21
	【巻末特集】リブラリアの「蔵書年齢」を調べてみた	p. 22

I トピックス

リブラリアが「Library of the Year 2022」の第二次選考対象に

図書館総合展の『ライブラリーオブザイヤー2022』の二次選考に進みました。表彰は知的資源イニシアティブ（IRI）が主催。学外の識者による他薦です¹。選考委員会の一次審査を通過し、9月7日に実施された第二次選考会（オンライン選考会）に視聴者として招待されました。

選考の結果、残念ながら受賞には至りませんでした。しかし、審査員の多くが公共図書館関係者であるというハンデの中でも、多くの選考委員から「清教学園が学校図書館として有意である」という発言があり、次年度に期待を持ち越した形となりました。



2022年9月4日

IRI Intellectual Resources Initiative

IRI 知的

IRI

ホーム IRIの概要 Library of the Year IRIアーカイブ 文化プロジェクト その他活動 月刊誌

ホーム / Library of the Year / Library of the Year 2022 第一次選考結果（第二次選考対象機関）発表！

POSTED ON 2022年8月26日 BY 管理員

Library of the Year 2022 第一次選考結果（第二次選考対象機関）発表！

選考委員による厳選なる審査の結果、Library of the Year 2022の第一次選考会を通過した13機関が以下の通り決定いたしました。

<一次選考通過（二次選考対象）機関>

※五十音順

- ・オーテピア
- ・福知こどもの図書館

高校生への資料支援が放送大学の映像授業教材に

2021年度に実施した高校の授業「Global Studies」での授業支援が、放送大学の映像授業教材に取り上げられました。塩谷京子准教授の「学習指導と学校図書館」にて配信される動画教材で、リブラリアの取り組みが紹介されます。生徒へのレファレンスや、授業設計と学校図書館活用の関わりについて、塩谷京子准教授と本校の山崎勇氣司書教諭が対談します。BSの放送大学にて数年の間、毎年夏に放送されます。



卒業論文研究発表会(中学) 4年ぶりの対面発表会を実施

2019年度からのコロナ禍により、中止・オンライン開催となっていた「卒業論文研究発表会」(中学)を、4年ぶりに対面発表形式で実施できました。中3生の一年間の研究成果を発表するこの機会は、発表者・参観者双方が、互いに一つの研究テーマについて、興味・関心をもって集うことが特徴²。150名近い中3生のユニークな研究と、500名近い参観者(生徒・教職員・学外参観者含む)の興味・関心が出会う場です。各ブースでは熱意ある発表と、活発な議論が沸き起こっていました。



¹ のちに白百合女子大学の学校図書館学の先生であることが判明

² 発表会と中学卒論の取り組みを、学外メディアに取材して頂きました → <https://cocorocom.com/school/article/76>

II 施設概要

名称：総合図書館 清教リブラリア

所在地：〒586-8585 大阪府河内長野市末広町 623

Tel : 0721-62-6828 (内線 28、29) HP : <https://www.seikyo.ed.jp/>

ツイッター : <https://twitter.com/seikyolibraria>

理事長・チャプレン:井上良作 中学高校・校長:森野章二

中学高校・副校長:菊岡秀行 中学・教頭:西村優子 高校・教頭:慎繁範

図書館教育:片岡則夫(探究科教諭)山根美智子(司書)南百合絵(司書教諭)

山崎勇氣(司書教諭)上河博美(非常勤司書)前野昌子(非常勤司書)

生徒数：中学校 453名(1年150名 2年151名 3年152名)

高等学校 1245名(1年441名 2年414名 3年390名)

総生徒数 1698名(昨年度1654名)

職員数 147名(昨年度153名) 利用者合計 1845名(昨年度1807名)

学級数：中学校12学級 高等学校31学級 合計43学級

設置：2002年4月(「総合図書館清教リブラリア」として現在の位置で開館)

図書館：

床面積：約256㎡(カウンター・司書室を含む) 座席数：20席

書庫(スタディホール・ホール上)

業務端末：7台 生徒検索端末：2台 無線LAN iPad：3台

蔵書管理システム：LibMax(ソフテック) 図書館発注システム：TOOLi-S(TRC)

総合学習室：

床面積：約98.2㎡

座席数：44席 生徒用PC：45台 無線LAN

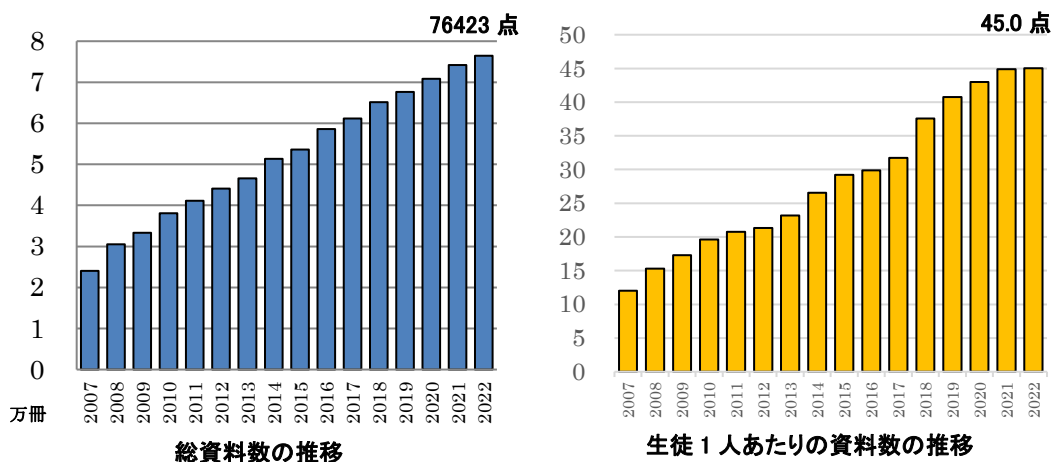
ラーニングコモンズ：

座席数：96席 **生徒用情報端末**：Chromebook 160台

Ⅲ 資料統計

資料数は76423点（生徒1人あたり45.0点）

本年度リブラリアの資料数76423点となりました。2021年度末より2195点の増加です。資料数の増加に伴い、長期にわたって提案しているように、図書館の大規模なレイアウト変更・増築・移転が強く求められる状況が続いています。また、生徒1人あたりの資料数は生徒減が影響して増加の傾向がみられていましたが、足元は生徒数増加のため足踏みしています。



1. 購入図書冊数 3262点

分類	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが絵本他	合計
冊数	115	123	468	500	417	224	160	404	69	747	35	3262
%	3.5	3.8	14.3	15.3	12.8	6.9	4.9	12.4	2.1	22.9	1.1	100.0

2. 購入視聴覚数 0点

3. 寄贈図書 226点

分類	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが絵本他	合計
寄贈	39	4	21	30	6	11	7	7	0	49	52	226

※ まんが・絵本他には視聴覚資料2点を含む ※ PTA学級図書費購入分も含む

4. 遡及作業 0点

5. 生徒作品(卒業論文等)受入分 53点

分類	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	合計
冊数	1	0	1	4	15	8	11	13	0	0	53

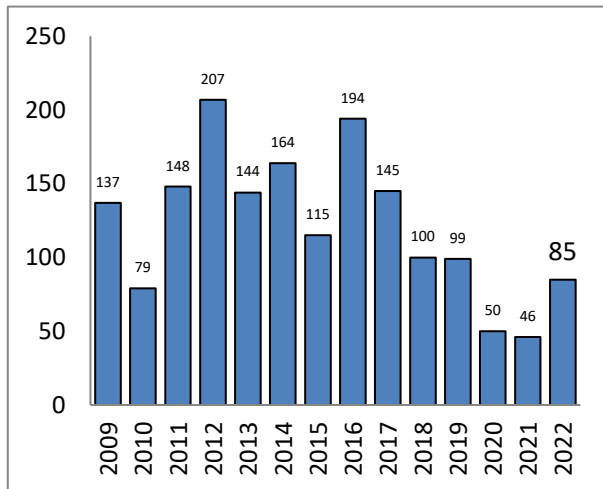
6. 総受入冊数 3615点

分類	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが絵本他	合計
冊数	158	131	496	542	443	245	178	427	76	831	88	3615

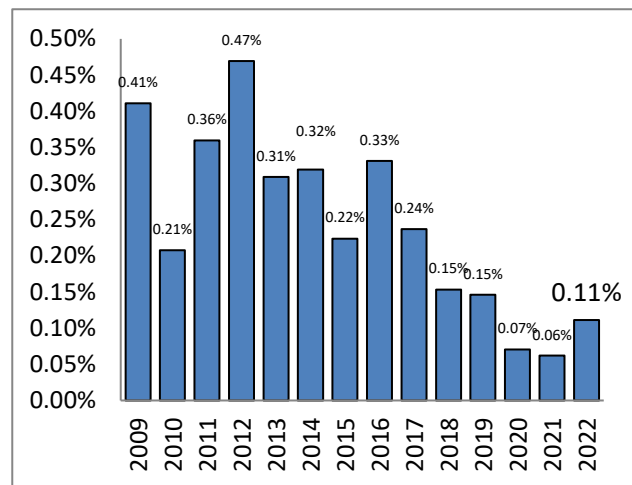
7. 紛失資料数と紛失率 85点・0.11%

年間紛失率＝年間紛失冊数÷蔵書冊数×100

被害額 93,960 円



年間紛失点数の推移



年間紛失率の推移

※これまでの紛失図書の累計 2236 冊 被害総額概算 335 万円

8. 廃棄数冊数 777 冊（昨年度 970 冊）

9. 総蔵書数・蔵書構成 76423 冊

分類	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが絵本他	合計
生徒作品	53	37	75	249	327	321	323	374	31	31	0	1821
寄贈	273	330	454	642	557	218	145	560	367	3724	755	8025
蔵書合計	2026	3615	5502	9728	9585	5963	4846	9027	1992	21800	2339	76423
%	2.6	4.7	7.2	12.7	12.5	7.8	6.4	11.8	2.6	28.6	3.1	100

※生徒作品にはテキスト・年報を含む。まんが・絵本他には視聴覚資料 422 点を含む

10. 生徒一人あたりの平均蔵書数 45.0 冊（昨年度 44.9 冊）

11. 教室設置図書（すくどの本）の蔵書数 466 冊

分類	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが絵本他	合計
中学 (12クラス)	4	6	4	23	30	2	7	11	16	199	0	302
高校 (8クラス)	6	11	8	26	12	3	3	0	9	85	1	164
合計	10	17	12	49	42	5	10	11	25	284	1	466

※ 2020 年度高校 2 クラス、2021 年度 5 クラス(82 冊)、2022 年度 8 クラスで実施

12. 教室設置図書（すくどの本）の紛失数 35 冊（昨年度 51 冊）全体に対する紛失率 7.5%

13. 雑誌（購入 23 誌・寄贈 2 誌）

アニメージュ	オレンジページ(隔週)	東洋経済	学校図書館
鉄道ジャーナル	進学通信(関西版)	私立中高進学通信	Number
ダ・ヴィンチ	THE BIG ISSUE JAPAN	日経エンタテイメント	MOE
月刊ピアノ	ナショナル・ジografic日本版	News がわかる	スクリーン
mg(エムジー)	ロッキング・オン・ジャパン	声優グランプリ	Newton
(季刊)うかたま	JICA's MAGAZINE World(寄贈)	ねこのきもち(寄贈)	熱風

14. 新聞（購入 3 誌）

読売新聞	毎日新聞	the japan times
------	------	-----------------

データベース

朝日けんさくくん	ジャパンナレッジ
----------	----------

IV 利用統計

貸出数中学は減少・高校は増大

2022 年度の 1 人あたりの年間貸出冊数は全生徒で 16.1 冊/年となり昨年度より 4.6 冊減でした。中学が 42.4 冊/年と 8.0 冊の大幅減となりました。一方、高校は 6.6 冊/年と 0.4 冊の微増となりました。中学校の減少は総合的学習の授業展開（課題）に原因があるようです。一方で、高校の増加は探究学習での図書館利用や、朝の読書時の「おためし読書」の効果が現れているように思えます。また総貸出数は 29,800 冊で、中学の減少が響き昨年に比べて 4548 冊減少しました。

開館時間 月曜日～土曜日 8:10～18:00 ※長期休暇中は別に定める

開館日数 280 日(前年度 272 日)

授業利用時間 **総合学習室**：中学総合学習 12 時間/週(中 1～3 年 各 4 クラス)

ラーニングコモンズ：キリスト教概論(GlobalStudies II) 10 時間/週

スタディホール：社会演習(GlobalStudies I) 10 時間/週

その他(保健体育、オンライン英会話、物理等)

貸出方法・期間 貸出冊数：20 冊まで/ 貸出期間：14 日以内 ※長期休暇中は別に定める

年間総貸出冊数 29,800 冊(昨年度 34,348 冊)

利用者 1 人あたりの貸出冊数【貸出密度】 () は前年度

全生徒 16.1 冊/年 (20.7 冊/年)

中学生 42.4 冊/年 (50.4 冊/年)

高校生 6.6 冊/年 (6.2 冊/年)

職員 8.7 冊/年 (11.1 冊/年)

開館日 1 日あたりの貸出冊数：126.5 冊(前年度冊)

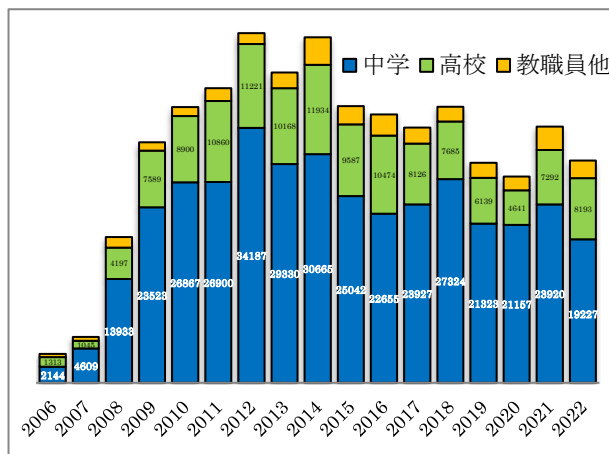
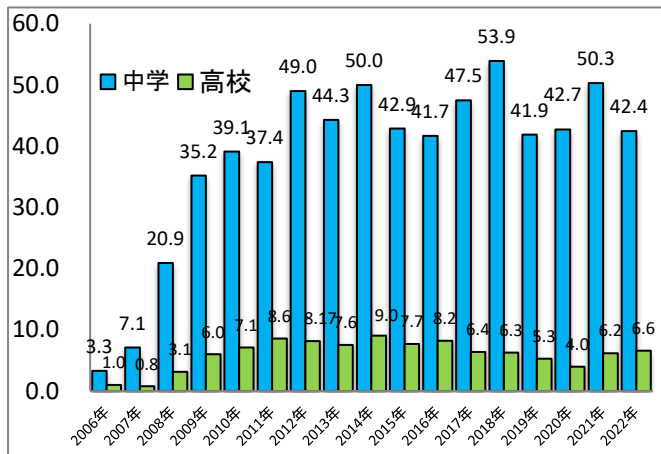
蔵書 1 冊あたりの平均貸出冊数【蔵書回転率】 (年間貸出冊数÷全蔵書冊数)：0.39 冊(前年度 0.46 冊)

新しい本が図書館にどの程度入ったか【蔵書新鮮度】：4.7%(前年度 4.9%)

(蔵書新鮮度＝その年の蔵書受け入れ冊数÷全蔵書冊数×100:数値が高いほど書架に新しい本が多い)

複写申請数 54 件(昨年度 56 件)複合機によるデジタルスキャンの利用増加で減少継続

他館借受本 306 冊(昨年度 293 冊)河内長野図書館他



年間貸出統計 2022 年度

	中1	中2	中3	中学生 貸出合計	高1	高2	高3	高校生 貸出合計	職員	教科他	総貸 出数	開館 日数	1日平 均	予約/ リクエ スト
4月	1556	261	644	2461	481	145	97	723	78	0	3262	21	155.3	48
5月	1037	176	457	1670	288	569	83	940	153	0	2763	23	120.1	202
6月	646	170	1289	2105	429	809	115	1353	128	774	4360	25	174.4	98
7月	765	382	909	2056	527	206	148	881	145	318	3400	26	130.8	90
8月	341	193	305	839	142	98	83	323	84	8	1254	27	46.4	23
9月	209	601	1225	2035	324	111	118	553	85	0	2673	24	111.4	70
10月	221	512	690	1423	510	78	140	728	86	0	2237	24	93.2	64
11月	256	720	681	1657	764	110	86	960	106	0	2723	24	113.5	64
12月	190	356	1216	1762	437	134	47	618	134	0	2514	23	109.3	46
1月	270	555	485	1310	206	64	4	274	102	0	1686	20	84.3	48
2月	131	510	467	1108	274	98	75	447	85	3	1643	17	96.6	27
3月	73	479	249	801	304	84	5	393	91	0	1285	26	106.4	19
集計	5695	4915	8617	19227	4686	2506	1001	8193	1277	1103	29800	280	111.8	799

分類別貸出冊数と回転率

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	視聴覚	絵本	マンガ	その他	合計
貸出 冊数	614	994	1421	3836	4733	3088	2077	5047	666	10232	59	215	1207	159	34348
分類別 回転率	0.32	0.28	0.27	0.41	0.51	0.53	0.44	0.58	0.34	0.48	0.72			0.46	
蔵書 回転率	0.01	0.01	0.02	0.05	0.06	0.04	0.03	0.07	0.01	0.14	0.02				

※ 「蔵書回転率」は蔵書1冊あたりの平均貸出冊数（蔵書回転率＝年間貸出冊数÷全蔵書冊数）

※ その他は他館からの借受本など。

すくど文庫の分類別蔵書・貸出統計

分類	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	絵本	合計
蔵書冊数	44	59	62	150	261	81	83	156	24	1480	2	2402
貸出冊数	43	52	16	108	193	64	59	71	6	621	0	1233
回転率	0.02	0.02	0.01	0.04	0.08	0.03	0.02	0.03	0.00	0.26	0.00	0.51

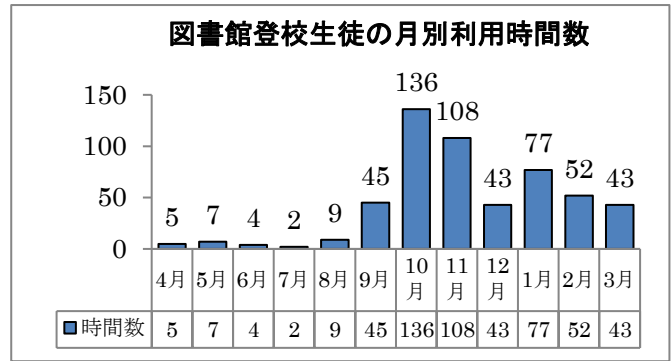
未貸出者率 1年間に貸出がなかった生徒職員の割合[新指標]

	中学1年	中学2年	中学3年	中学	高校1年	高校2年	高校3年	高校	全生徒	教職員
未貸出者数	0	0	0	0	38	104	262	404	404	110
総数	150	151	152	453	441	414	390	1245	1698	147
割合(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	8.6	25.1	67.2	32.4	23.8	74.8

図書館登校生徒統計

年間利用日数：257日（昨年度 111日）
 利用生徒：18名（昨年度 20名）
 総利用時間数：531時間（校時）
 （昨年度 297時間）

中学			高校			合計
1年	2年	3年	1年	2年	3年	
4	2	2	3	5	2	18



ラーニングコモンズ利用統計（放課後のみ・6年目）

2023年2月18日から自習監督なしに変更されたため、下記記録は2023年2月18日までのもの
 開室日数：208日（昨年度 198日）
 総利用者数：4736人（昨年 5954人）
 開室日あたりの平均利用者数：22.7人/日（昨年度 30人/日）
 生徒ボランティア：140名（中学生 31名/高校生 109名）（昨年度 63名）

今年度の開室日1日あたりの利用者数の平均は22.7人/日。生徒のボランティアが140名となり、生徒が自身で運営できる自習室に成長しました。自分たちで自習する体制ができた判断し、2023年3月からは監督なしで実施をはじめました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
開室日数(日)	17	21	25	15	6	20	24	23	16	15	15	197
開室時間(分)	2191	3281	3482	3814	920	2491	4187	4007	5190	1879	3388	34830
中学個別エリア(人)	91	79	94	104	16	102	99	115	71	60	40	871
中学協働エリア(人)	閉鎖		62	11	閉鎖		2	38	38	17	13	181
高校個別エリア(人)	190	598	397	190	72	217	586	314	147	68	73	2852
高校協働エリア(人)	閉鎖		456	215	閉鎖		71	419	228	132	134	1655
教職員(人)	1	0	13	19	0	1	5	7	0	2	2	50
見学者(人)	0	2	84	0	0	2	1	25	0	0	0	114
利用者数(人)	282	679	1106	539	88	322	764	918	484	279	262	5723

長期休暇中の利用（ ）内は前年度

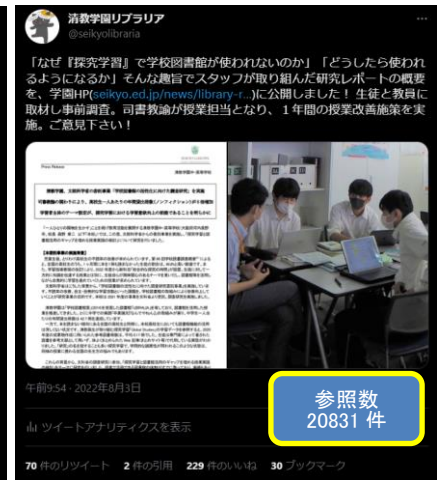
総入館者数：1333人（1611人）
 利用：貸出 698冊（848冊）
 返却 623冊（621冊）
 1日あたりの入館者：35人（46人）
 1日あたりの貸出数：18.3冊（24.2冊）
 1日あたりの返却数：16.3冊（17.7冊）

リブラリア Twitter 統計（8年目）

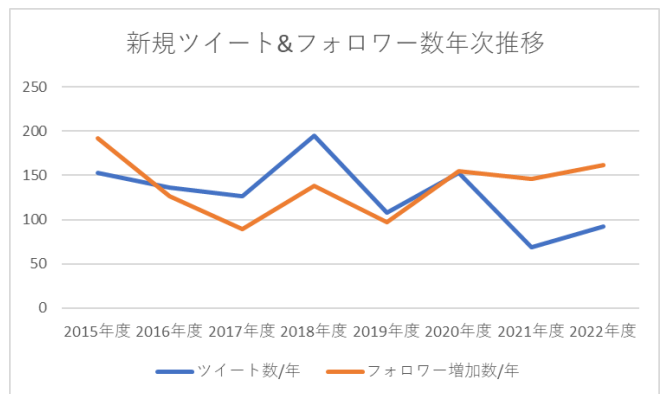
今年も「アナリティクス」という分析ツールで、ツイート数と話題になったツイートをチェックしました。本年度のツイートは92件(昨年度69件)。大幅減となった昨年度から向上したものの、図書館スタッフ数の不足、業務量の増加に伴う投稿頻度の低下が課題です。2022年度のツイート状況も、現在のリブラリアスタッフの多忙な状況を反映したものとなりました。

一方、新規フォロワー数は162件(昨年度146件)と、堅実に伸び、フォロワー1000名を突破しました。SNSは投稿し話題になれば、人々の目に触れる機会が大幅に増えるツールです。そのため、投稿ネタもさることながら、投稿する頻度がやはり重要です。次年度以降もマメなツイートが優先事項です。

この一年で特に話題だったツイートは以下の三つ。特に、文科省研究委託事業(2021年度参加)の事業報告公開が話題となり、教育関係のアカウントに拡散。総計2万801件の参照数を得ました。



	ツイート数累計	ツイート数/年	フォロワー数累計	フォロワー増加数/年
2015年度	153	153	192	192
2016年度	289	136	318	126
2017年度	425	126	407	89
2018年度	620	195	545	138
2019年度	728	108	642	97
2020年度	881	153	797	155
2021年度	950	69	943	146
2022年度	1042	92	1105	162



V 2022 年度の記録

リブラリアに関係した生徒の受賞等

今年度、学外のコンクールに入賞・出場した生徒を以下に掲載します。

【第26回 図書館を使った調べる学習コンクール】 主催：公益財団法人 図書館振興財団

奨励賞 調べる学習部門 中学生の部

『日本の英語教育は英語力向上につながっているのか：伸びしろのある日本の英語教育』 さん(高1D)

中学総合学習で作成した卒業論文を今年度コンクールの「中学生の部」に応募。英語が苦手で、なぜ学校で英語を勉強するのか、という素朴な疑問からはじまった論文です。学ぼうちに興味の方向は変化し、他国の英語教育の方法と日本の英語教育の方法を比較し、どの教育がどのような効果を生んでいるのか、日本の英語教育の利点、欠点等を検討しました。その結果、英語力向上のためには、英語教育を「能動的な学習に」し、「小中、中高の連携を強くする」ことが必要だという結論に至りました。



奨励賞 調べる学習部門 高校生の部

『なぜ深海魚は深海で生き抜くことができるのか：極地を生き延びる生物』 さん(高1D)

中学総合学習で作成した卒業論文に加筆し、今年度コンクールの「高校生の部」に応募。深海生物の研究者になり、潜水艇で深海にもぐって、様々な深海魚をこの目で見たいと願う彼女がガイドとなり、深海とは何か、深海魚とはどのような生き物で、水族館ではどのように展示されているのかを紹介し、フィールドワークでは海遊館を訪れ、展示されている深海魚の様子を観察し、深海魚グッズの調査も行いました。



【第7回 大阪府中高生ビブリオバトル大会】 主催：大阪府

さん(高1H)が学校代表で出場。瀬尾まいこ『そして、バトンは渡された』で、大阪府の各校から選抜された19名(うち2名棄権)と、コロナ禍で練習もあまり出来ない中でしたが、楽しみながらバトルしていました。



【中・高生による探究の集い 2022】 主催：関西学院高等部

コンテスト部門出場

総合学習の授業にて卒業論文を執筆中だった
さん(中3C)が、『どうすれば人間は自らの幸福を追求しつつも他の命と共生していけるのか:物質に依存する社会からの脱却と人々の幸福の達成』をテーマに、コンテスト部門に応募。研究成果を発表しました。

同コンテストは、かつて関西学院大学が主催した「SGH 甲子園」の後身的位置づけ。コロナ禍以降数年ぶりの対面開催となった2022年度は、主催側の想定を大きく超える全91チームからの応募があり、特に中野さんが応募した「コンテスト部門」の事前審査は苛烈を極めました。

多くの参加者が「高校生」「グループ発表」である中、たった一人で発表する中学生のさんの姿は際立っていました。大学の口頭試問さながらに、鋭い質問が各大学教員から飛んでも、自身の考えを堂々と返す姿が印象的でした。発表後の講評では、勉強量と熱意を裏付ける参考文献の多様さと、課題解決の方法論に留まらず、本質的な理論・思想に着目した姿勢に好評を頂きました。



リブラリア発の企画や教育実践等

今年度、学内外で実施した企画や、教育実践を以下にまとめます。

「ちいさいおはなし会」から「おはなし会」へ(5年目)

朝の読書の時間に行っている「ちいさいおはなし会」は、今年度は十分には実施できませんでした。中1生から中3生までに1回はおはなしを届けることができました。コロナ禍のため、語り手がマスクを着けたままで行うという形式を継続しました。昨年度初めて実施した高校へのサービス継続はできませんでしたが、新しい取り組みとして、自習時間をいただいて、50分間の「おはなし会」を中1の3クラスで実施することができました。

タイトル	担当者	対象	時期	コマ
すばなし『三びきの子ブタ』 (イギリスとアイルランドの昔話)	南	中1(74期:4クラス) 中2(73期:4クラス) 中3(72期:4クラス)	5-6月	朝の読書
すばなし『馬方やまんば』(日本の昔話)	南	中1(74期:4クラス)	7月	朝の読書
すばなし『ちっちゃなゴキブリのべっぴんさん』(イランの昔話)	南	中1(74期:3クラス)	10月	自習時間
すばなし『アナンシと五』 (ジャマイカの昔話)	上河	中1(74期:3クラス)	10月	自習時間
絵本『王さまと九人のきょうだい』	上河	中1(74期:3クラス)	10月	自習時間
絵本『世界のなぞかけ昔話1-3』	上河	中1(74期:3クラス)	10月	自習時間
すばなし『七羽のからす』	上河	全学年参加希望者	12月	クリスマス会

『マイテーマの探し方』中国語訳出版決定

筑摩書房から2021年に出版された『マイテーマの探し方：探究学習ってどうやるの?』（ちくまQブックス）の中国語訳が聯合天際（北京）文化傳媒有限公司より簡体字版で出版されます。他の「ちくまQブックス」のシリーズとともに、「Q文庫」として翻訳される予定です。



宗教部・リブラリア共催「クリスマス会」



スタディホールにおいて、宗教部・リブラリア共催の「クリスマス会」を行いました。

第1部は川俣先生のお話。続いて富阪先生、村井先生、河村先生に協力していただきコンサートを開催しました。演奏・歌唱だけでなく、トークでも観客を引きつけて止まない先生方に、大声援があがっていました。第2部はストーリーテリング「7羽のからす」（上河）の後、ボードゲーム大会を実施。カルタやオセロなどの定番ゲーム以外に、各自持ち寄ったゲームもあり、大いに盛り上がりました。

全国の学校図書館との連携行事「ほんトーク」3年目に

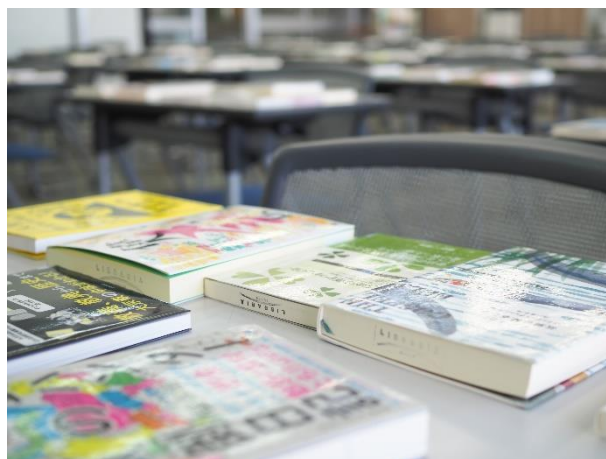


清教生と他校の生徒が、学校の枠を超えて、遠隔でトークライブを行うという取組みも3年目になりました。現在参加校は、関大中高、渋谷教育学園渋谷中高、昭和女子大学附属昭和中高、水都国際中高、青翔開智中高、千里国際中高、玉川聖学院中高、津和野高、ドルトン東京中高、浪商中高、ノートルダム清心中高、広島叡智中高、世田谷学園中高、三田国際学園中高に清教学園中高を加えた15校。今年度は6回開催しました。清教学園がホストとなり、5月30日に「自分の好きな本」、7月14日に「夏休みに読みたくなる恐怖の本!」、1月28日に「影響を受けた本」の3回。昭和女子大学附属中高さんがホストとなり、5月28日は「1年生におすすめしたい本」、8月22日は「夏休みに読んだ思い出の本」、3月24日に「著名人（職業が作家ではない人）が書いた本」の3回でした。

高校「朝の読書」にて「出張おためし読書」を実践(2年目)

高校生の図書館利用を促進するため「おためし読書³」の機会を高校でも設けました。高校生に対する実施は、昨年度に引き続き2年目の取り組みです。高1・高2・高3「朝の読書」にて、各クラス1回実施。全107名の生徒に対し116冊の本が、その場で貸出されました。また、おためし読書一回あたりの平均貸出は3.8冊という結果になりました。中学での活発な図書館活用により成長してきたリブラリアの蔵書は、機会さえ設ければ、高校生にも訴求するラインナップが整っていることがわかりました。

一度でも図書館で面白い本に出会えれば、その後の日常的な図書館利用にも繋がるようです。おためし読書による高校生向けの図書館利用導入が功を奏し、2022年度の高校生一人当たりの平均貸出冊数が増加。2020年に4.0冊、2021年度は6.2冊、2022年度は6.6冊へと、三年連続で増加しました。入学後に図書館に触れる機会を保証することが、高校生全体の読書活動を後押しすることが実証されました。



学級文庫「すくどの本」、高校へ(3年目)

高校の学級文庫を希望制で図書館が請け負うサービスです。昨年度の3学年5クラスから、今年度は3学年8クラスに設置数が増加しました。教員間での認知度が上がってきたのかもしれませんが、先生の要望をお聞きして、各クラスに20冊程度本を準備し、テストごとに巡回しました。

高校生の利用促進は本館の継続的課題となっています。この取り組みが、高校生が図書館へ足を向ける機会の一つになってくれることを願い、次年度以降も継続します。

³ 「おためし読書」は本のためし読みを行うワークショップです。限られた時間でたくさんの本に触れ、読みたい本に出会う確率を高めるのが目的です。生徒の図書館利用の導入として、清教学園中学で長年実践されています。

テーマ展示と「図書館だより」 8件

時期	テーマ	担当
4月	「図書館 Library」	上河
5月	恋愛小説が読みたいと言われて集めてみました	山根
6月	「○○」からはじまる～在野の研究者たち～	南
9月	秋の夜長に長編小説はいかがですか	前野
10月	パロディ？ オマージュ？ 本歌取り！	上河
11月	秋の夜長に	山根
12月	おためし読書の本	南
2月	冬の絵本	南

その他の特集展示・掲示 30件

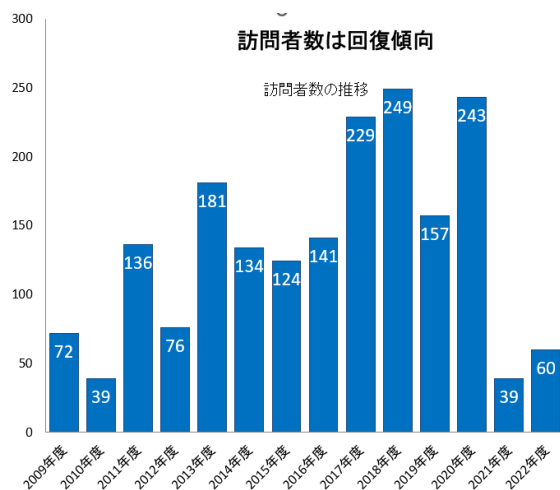
時期	テーマ	備考
4月	高校1年(3年コース) おためし読書	図書館ガイダンスで実施
	ウクライナとロシア どんな国？	
	「ドライブマイカー」(『女のいない男たち』より)	アカデミー賞受賞
	宮部みゆきさんのオススメ本	高校生直木賞イベントより
5月	図書委員さんのオススメ1回目	『暗号学』『君の隣臓をたべたい』『夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く』
	中学73期生「はじめての探究学習」作品集	中1総合学習作品展示
	「ちいさいおはなし会」おはなし&紹介本	「3びきのこぶた」
6月	図書委員さんのオススメ2回目	『お茶が運ばれてくるまでに』『夜が運ばれてくるまでに』
	卒業生のオススメ本	遊びに来た卒業生がPOP作成
	穂村弘の本	国語科 村井先生
	磯の生き物	中学2,3年生行事「磯観察」
7月	有志によるおすすめ本のPOP	『恋の名前』『5分後に恋の結末』
	直木賞、芥川賞受賞作品	『夜に星を放つ』『おいしいごはんが食べられますように』
9月	図書委員おすすめPOP	
	映画『ブレット・トレイン』原作『マリアビートル』他	伊坂幸太郎の本
	奥野宣之著作本コーナー	奥野宣之氏来館にあわせて
	エリザベス女王と英国	
10月	中1「おなはし会」で紹介した本	
	佐々涼子さんの本	英語科：富阪先生選書『エンジェルフライト』他
	追悼 やまわきゆりこさん	『ぐりとぐら』他
	図書委員さんのオススメPOP②	『君にさよならを言わない』
	平野俊夫博士 講演会	言及された本を展示
11月	「水中考古学」	新聞記事とともに
	クリスマス	
12月	中村哲さん	
	冬とウサギ	
1月	本屋大賞ノミネート・過去の受賞作品	
	「ほんトーク」で紹介された本	1月28日(土)ほんトーク
2月	チョコレートのお菓子	
3月	追悼 大江健三郎さん	

行事・企画 14 件

時期	行事・企画内容
5 月	第 1 回 図書館クイズ (参加 10 名)
	オンライン「ほんトーク」：「自分の好きな本」 (参加 9 名) 主催：昭和女子大学附属中高 参加校：清教学園中・高等学校 昭和女子大学附属中・高等学校 世田谷学園中・高等学校 三田国際中・高等学校
	オンライン「ほんトーク」：「おススメの本」 (参加 6 名) 主催：清教学園中・高等学校 参加校：昭和女子大学附属高等学校 渋谷教育学園渋谷中学校 青翔開智高等学校 関西学院大学千里国際高等学校
7 月	オンライン「ほんトーク」：「夏におすすめ怖い本」 (参加 15 名) 主催：清教学園中・高等学校 参加校：昭和女子大学附属中高等学校 ノートルダム清心高等学校
	第 2 回 図書館クイズ (参加 12 名)
8 月	オンライン「ほんトーク」：「夏休みに読んだ思い出の本」 (参加 11 名) 主催：昭和女子大学附属中高 参加校：実践女子学園、清教学園高等学校
9 月	第 3 回 図書館クイズ (参加 14 名)
10 月	中 1 おはなし会 総合の授業に 3 クラス実施
11 月	第 4 回 図書館クイズ (参加 12 名)
12 月	宗教部・リブラリア共催クリスマス会 第 1 部川俣先生のお話・教師によるコンサート 第 2 部ストーリーテリング、ボードゲーム大会 (15 名参加)
1 月	「ほんトーク」：「影響を受けた本」 (3 校 12 名参加) 主催：清教学園高等学校 参加校：大阪府立水都国際高等学校、ノートルダム清心高等学校
2 月	第 4 回図書館クイズ (参加者 19 名) 蔵書点検及び本の移動、除籍本の検討と譲渡
3 月	「ほんトーク」：「著名人（職業が作家ではない人）が書いた本」 (参加 15 名) 主催：昭和女子大学附属中 参加校：ノートルダム清心高等学校、青翔開智中・高等学校、世田谷学園中・高等学校、清教学園高等学校

訪問者（敬称略） 37 件 61 名

2022 年度のリブラリアへの訪問者は 37 件 61 名でした。新型コロナウイルス感染症に関する状況などがかなり落ち着き、海外からのお客様も増えてきました。累計訪問者数は 1881 名となり、2000 名の大台が見えてきました。



	日付	人数	所属	代表者氏名	訪問目的
1	4月2日	1	京都橘中・高等学校		図書館見学
2	4月21日	1	自修館中等教育学校		探究授業取材 (Zoom)
3	5月23日	1	同志社国際学院初等部		図書館見学
4	5月24日	2	関西電力送配電株式会社		感謝の手紙のお礼と 出前授業
5	6月2日	2	大阪高等学校		BYOD 視察

6	6月25日	1	京都橘中・高等学校		図書館見学
7	6月28日	3	鎮西学院		図書館見学
8	7月7日	2	初芝富田林中・高等学校		探究学習視察
9	7月11日	1	京都廣学館高等学校		蔵書管理システム選定の参考に
10	7月14日	2	近畿大学		図書館・総合(中3)見学
11	7月14日	2	大東市立深野中学校		図書館見学 研修会打合せ
12	8月25日	1	ドルトン東京学園中・高等部		図書館見学
13	9月1日	3	立志館ゼミナール中学入試部		図書館見学
14	9月1日	1	クスタニ塾		図書館見学
15	9月1日	2	飛翔学舎		図書館見学
16	9月7日	1	ライター・作家		図書館・授業見学
17	9月24日	1	インドネシア		図書館見学
18	10月13日	1	和泉市立南池田中学校		図書館見学
19	11月5日	1	大阪府立堺西高等学校		図書館見学
20	11月11日	1	USA		図書館見学
21	11月17日	1	東京基督教大学		図書館見学
22	11月24日	1	株式会社NOLTY プランナーズ		高校総合見学
23	11月24日	6	学びを広げる学校図書館の会		図書館見学
24	12月5日	2	光塩女子学院中・高等学科		図書館見学
25	12月5日	1	コアネット教育総合研究所		図書館見学
26	12月9日	1	株式会社Inspire High		図書館見学
27	12月9日	1	帝塚山学院中・高等学校		図書館見学
28	12月19日	1	空間作家		図書館見学
29	12月21日	1	日本基督教団石津教会		図書館見学
30	12月22日	2	イラストレーター		図書館見学
31	1月26日	1	株式会社キャリアリンク		図書館見学
32	2月15日	6	筑陽学園中・高等学校		学校見学
33	3月4日	2	浪速高等学校		図書館見学
34	3月8日	1	同志社中・高等学校		卒業論文発表会見学
35	3月8日	2	株式会社サン・ロワ		ココロコミュ取材
36	3月9日	1	不明		図書館見学
37	3月11日	1	慶應義塾大学		図書館見学

中止になった企画

清教学園幼稚園「リブラリア探検」、地域の小学生向け「夏休み調べ学習教室」は、コロナウイルス感染症の状況を考慮し今年度も中止しました。次年度の開催に期待です。

研修・学校見学等参加記録 22件

(開催日・主催者「研修テーマ」講演者、会場[参加者])

- ・4月8日(金)東京子ども図書館「第37期お話の研修会」[南]
- ・5月13日(金)東京子ども図書館「第37期お話の研修会」[南]
- ・6月3日(金)大阪市立中学校・高等学校図書館研究会講演「言葉の海を渡る船」山本康一(三省堂辞書出版部)、オンライン[上河]
- ・6月3日(金)東京子ども図書館「第37期お話の研修会」[南]

- ・6月24日(金)大阪府立中央図書館 国際児童文学館「講演と新刊紹介 2021年に出版された本」オンライン [上河] [山根]
- ・7月1日(金)東京子ども図書館「第37期お話の研修会」[南]
- ・7月29日(金)令和4年度公立図書館と学校との合同研修第2回『子どもの読書活動をめぐる新たな動きについて』大阪府立中央図書館 [山根]
- ・7月31日(日)文民教育協会 子どもの文化研究所・子どもの文化学校『紙芝居3賞贈呈式—受賞者の実演とスピーチの配信視聴』オンライン [山根]
- ・8月3日-31日 全国学校図書館協議会「第43回全国学校図書館研究大会(オンライン大会)」 「新しい教育を拓く学校図書館 ICT活用の新たな可能性の分科会、講演子どもの読書における紙とデジタルの使い分け～認知科学からの考察～」群馬大学情報学部教授柴田博仁氏、オンライン [南] [山根]
- ・9月2日(金)東京子ども図書館「第37期お話の研修会」[南]
- ・9月23-24日(金・土)東京子ども図書館「第37期お話の研修会」[南]
- ・10月7日(金)東京子ども図書館「第37期お話の研修会」[南]
- ・11月4日(金)東京子ども図書館「第37期お話の研修会」[南]
- ・11月2日(金)東京子ども図書館「第37期お話の研修会」[南]
- ・12月2日(金)東京子ども図書館「第37期お話の研修会」[南]
- ・12月15日(木)大阪私立中学校・高等学校図書館研究会「冬の研修会:こども本の森」中之島 読売新聞大阪本社 [山根]
- ・12月17日(土)関西学院中高 「中・高生による探究の集い 2022:教員向けセミナー」関西学院大学 [山崎・南]
- ・12月18日(日)令和4年度「第7回大阪府中高生ビブリオバトル大会 高校生大会」大阪府咲洲庁舎 [山根]
- ・1月21日(金)東京子ども図書館「第37期お話の研修会」[南]
- ・2月7日(火)啓明学園中高への訪問 探究学習指導体制の視察、啓明学園中高 [山崎・南]
- ・2月11日(金)東京子ども図書館「第37期お話の研修会」[南]
- ・3月3日(金)東京子ども図書館「第37期お話の研修会」[南]

雑誌・新聞記事・番組出演・寄稿・WEB記事等 10件

(発行日・著者「タイトル」掲載メディア [担当])

- ・2022年6月片岡則夫「図書館はまちの宝 指宿市立図書館」『図書館の学校』2022年夏号[片岡]
- ・2022年7月27-30日 以降毎年夏に4年間 山崎勇氣「放送大学 塩谷京子客員准教授『学習指導と学校図書館』」第8回-11回 BS放送大学に番組出演[山崎]
- ・2022年8月 山崎勇氣 学園HP掲載「探究学習と図書館活用のギャップを埋める授業実践の検討:報告書」が複数のWebメディアにて掲載・拡散(国立国会図書館 Current Awareness Portal(<https://current.ndl.go.jp/car/46600>)/ EdTech Zine /ReseEd 教育業界ニュース/NEWSPICKS/ 教育家庭新聞/等)[山崎]
- ・2022年9月片岡則夫「図書館は知的生産の基地 高砂市立図書館がめざす新しい郷土資料」『図書館の学校』2022年秋号[片岡]

- ・2022年12月片岡則夫「こどもの未来をつくるしごと 高知こどもの図書館」『図書館の学校』2022年冬号[片岡]
- ・2023年3月 片岡則夫「探究学習を支える：主体性と多様性がもたらす豊かな道のり」『教育科学セミナー』第54号, 関西大学教育学会, p. 31 - 44[片岡]
- ・2023年3月 片岡則夫「探究学習を支える：主体性と多様性がもたらす豊かな道のり」『教育科学セミナー』第54号, 関西大学教育学会, p. 31 - 44[片岡]
- ・2023年3月 片岡則夫「『読書回転寿司』で本とであう」『年報子どもの図書館:2017-2022』2022年版, 児童図書館研究編集, 日本図書館協会発行, p. 331 - 335[片岡]
- ・2023年3月片岡則夫「県立図書館とはなにかを問い続けて 鳥取県立図書館のビジネス支援の現在」『図書館の学校』2022年春号[片岡]
- ・ココロコミュ『読書を軸に「賜物」となる自分のテーマを掘り下げる：清教学園の探究学習 卒業論文「なんでやねん」』(<https://cocorocom.com/school/article/76>) [山崎・南]

外部講師・学会発表等 19件/参加者のべ1936名

(開催日・主催者「講座テーマ」会場、参加数[担当])

- ・4月1日(金) 14:00~16:00(120分)同志社中学校 2022年度教員研修会『探究的な学びにどのような学習環境が必要か：生徒の興味と関心に寄り添う組織体制と図書館づくり』同志社中学校図書館、40名 [山崎]
- ・5月21日(土) 14:00~15:30(90分)京都府私立学校図書館協議会 研修会『いかにして「図書館のセンセー」の専門性を発揮するか：生徒の探究活動が教職員と蔵書を成長させる』同志社女子中学校・高等学校 図書・情報センター、35名 [山崎]
- ・6月7日(火) 兵庫県私立小学校連合会学校図書館部会「調べる学習実践に当たって学校図書館の有効な活用について」須磨浦小学校、11名 [片岡]
- ・6月10日(金) 文京区「家庭教育講座」(夏休み自由研究お悩み解決)文教区役所地下、48名 [片岡]
- ・6月22日(水) 茨木市教育委員会「調べる学習で育てたい力」司書教諭研修 茨木市立中央図書館、42名 [片岡]
- ・7月24日(日) 第8回大阪府熊取町調べる学習応援講座 熊取市図書館、12名 [片岡]
- ・7月28日(木) 美唄市第1回 調べる学習体験講座 美唄市立図書館、7名 [片岡]
- ・7月30日(土) 泉大津市立図書館：ワークショップ「調べる学習コンクールへの第一歩」泉大津市立図書館、24名 [片岡]
- ・8月6日(土)・7日(日) 座間市立図書館「自由研究応援講座」高学年リモート10名 [片岡]
- ・8月9日(火) 和歌山県/紀の川市立 安楽川小学校「ミニ調べる学習」体験講座 安楽川小学校、20名 [片岡]
- ・8月23日(水) 大東市立深野中学校夏季校内研修/GTM(大阪府学校図書館を充実・活用するためのモデル校) 30名 [片岡]
- ・8月27日(土) 広島女学院中学・高等学校「探究学習、その可能性について:生徒におけるテーマ選定の指導を中心として」広島女学院、50名 [片岡]

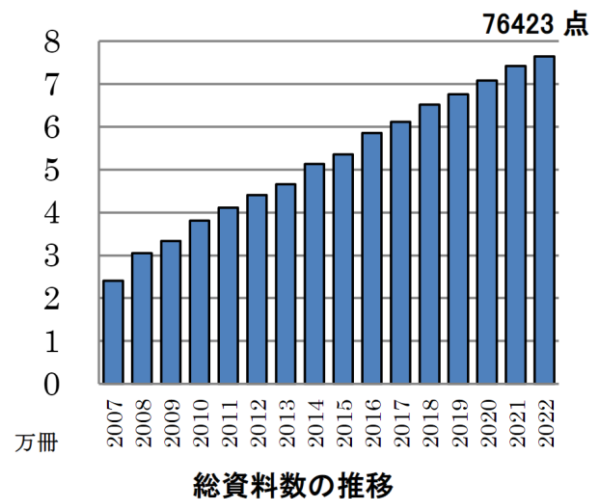
- ・ 9月6日（火）千葉県立中央図書館児童サービス基礎研修会リモート講義 オンライン、80名 [片岡]
- ・ 10月25日（火）14:00～15:25 堺市教育委員会 学校司書講座「学校司書として学校図書館に寄与するために：学習センター機能の充実に向けて」東文化センター70名 [片岡]
- ・ 11月9日（水）東京学芸大学学校図書館運営専門委員会「探究的な学びを支える学校図書館の蔵書構築」オンライン、7名 [片岡]
- ・ 11月17日（木）13:30～15:30 令和4年度第3回「西宮市学校司書研修会」『YA世代の選書について』総合教育センター、40名 [南]
- ・ 12月14日（水）茨木市学校司書研修「調べ学習と学校図書館～授業と学校図書館をつなげる環境～」茨木市民センター、59名 [片岡]
- ・ 12月17日（土）東京学芸大学学校図書館運営専門委員会「文科省事業報告会」「みんなで使おう！学校図書館 Vol. 14」東京学芸大学附属世田谷中学校、211名 [片岡]
- ・ 3月15日（水）広島女学院探究フェス 講演 広島女学院、1140名 [片岡]

VI 課題

配架スペースの不足

長らく配架スペースの不足に悩まされてきたリブラリア。古くなった図書資料の廃棄や、館内の隙間スペースに書架を増築することによって、その場をしのぐ対応をしてきましたが、依然として抜本的な解決には至っていません。

2023年4月時点で、リブラリアの資料数は76,423点。統計を取り始めた15年前と比較して、フロア面積を変えず蔵書数は約4倍に至る勢いです。リブラリアが建設された当初の蔵書収容率を、大きく越える資料数になっていることがわかります。その躰寄せは様々な点に表れており、「蔵書スペースを確保するために天井近くにまで図書を配架した結果、背の低い生徒が本を手につけられない・背表紙が見えない」「詰め詰めに収められており、返却された本を棚に入れることができない」「図書館2階のスタディホールに書庫スペースを増築せざるを得ない」などの状況が発生しています。



新書は前後2段で配架。書架に入りきらない資料は平積み状態



背の高い資料は寝かせて配架。生徒論文などのタイトルが読めない



天井まで資料を配置。資料を手にとれない・選べない・危ない



1F図書館の書架が足りないため、比較的新しい本も2F書庫へ移動。スタディホール後方に設置せざるを得ない

Ⅶ 図書館リブラリアの歩み 2002～2022

年度	主なできごと
2002 年 (平成 14 年)	<ul style="list-style-type: none"> ・現在地に図書館が移転。天井の高いホールを区切り、1 階に図書館、2 階に 120 席のスタディーホールが生まれる。同時に、それまで図書館であった教室が、総合学習室としてリニューアル。
2007 年 (平成 19 年)	<ul style="list-style-type: none"> ・専任司書教諭着任、探究科創設・専任教諭着任 ・事業報告の刊行・統計資料の充実開始 ・総合学習等で年間約 400 時間の利用 ・図書の廃棄基準を定め、1176 冊を除籍
2008 年 (平成 20 年)	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵書管理に「ライブマックス」、書誌情報のために「Tooli-S」を導入 ・レファレンス資料用の低書架を増設、スタディホールに書庫増設 ・レファレンス低書架を増設、文庫棚・ビデオ棚・傾斜棚を導入 ・生徒用検索端末 2 台を設置 ・貸出冊数を 2 冊から 5 冊に増加
2009 年 (平成 21 年)	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出冊数 32278 冊、2006 年度と比較しておよそ 10 倍弱 ・年度当初のオリエーション開始 ・貸出冊数を 5 冊から 10 冊に増加 ・図書購入の見計らい開始 ・雑誌棚を新設、L 型低書架スタディーホールに導入、総合学習室文具棚を改造 ・第 13 回「図書館を使った調べる学習賞コンクール」探究科論文が文部科学大臣奨励賞・活字文化推進会議賞を受賞
2010 年 (平成 22 年)	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府下貸出冊数一位を記録 ・貸出冊数を 10 冊から 20 冊に増加 ・第 14 回「図書館を使った調べる学習賞コンクール」探究科論文が文部科学大臣賞・日本児童図書出版協会賞を受賞 ・「NRI 学生小論文コンテスト 2010」にて探究科論文が大賞受賞
2011 年 (平成 23 年)	<ul style="list-style-type: none"> ・清教学園 60 周年記念事業「『探究的な学習』が賜物を生かす」開催 ・文部科学省「読書活動優秀実践校」表彰
2012 年 (平成 24 年)	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出冊数が増加、4 万冊を突破 ・「がんばった学校支援事業」補助金交付 ・「図書館を使った調べる学習コンクール」受賞 ・読売新聞「教育ルネサンス」(全国版)掲載 ・中学新入生向けの「すくど文庫」はじまる
2013 年 (平成 25 年)	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省委託助成研究が終了 ・『なんでも学べる学校図書館をつくる』少年写真新聞社より出版 ・国際子ども図書館「調べものの部屋プロジェクト」への参加
2014 年 (平成 26 年)	<ul style="list-style-type: none"> ・第 44 回「学校図書館賞」大賞を受賞 ・図書館振興財団の助成決定：デジタルアーカイブ化はじまる ・スタディーホールに書架を増設：収納量 3000 冊増 ・学級文庫「すくどの本」を中学各教室に設置：3000 冊が読まれる

2015 年 (平成 27 年)	<ul style="list-style-type: none"> ・第 9 回高橋松之助記念「朝の読書大賞」を受賞 ・生徒作品のデジタルアーカイブ化が実現 ・第 17 回図書館総合展にブース出展 ・国会図書館「レファレンス協同データベース」に参加 ・ツイッターによる情報発信を開始
2016 年 (平成 28 年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターセッションによる中学卒業研究発表会を開催 ・ラーニングcommons開室 ・「本をつなげるプロジェクト」はじまる ・リブラリア書架・総合的学習室ロッカーを各種賞金で増設 ・「図書館を使った調べる学習コンクール」9 年連続入賞 ・教育課程の変更により探究科終了
2017 年 (平成 29 年)	<ul style="list-style-type: none"> ・リブラリア訪問者数累計 1100 名を突破 ・清教学園幼稚園生による「リブラリア探険」開始 ・『なんでも学べる学校図書館をつくる 2』少年写真新聞社より出版 ・ラーニングcommons本格稼働 利用者約 3000 名 ・有志探究活動「清教アカデミカ」はじまる ・統計グラフコンクールに初入賞
2018 年 (平成 30 年)	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問者新記録・累計 1300 名を突破 ・講談社現代新書『中高生からの論文入門』発刊 ・『探究科の記録 2008～2016』まとまる ・中 3 卒業研究“論文形式”に進化 ・私学教育研究所委託研究決定
2019 年 (令和元年)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響甚大：3 月休館・卒業論文発表会中止 ・私学教育研究所委託研究実施 ・小学生向け「夏休み調べ学習教室」初の開催
2020 年 (令和 2 年)	<ul style="list-style-type: none"> ・10 年来の課題「蔵書スペースの限界」：総合的学習室の図書館化を提案 ・文部科学省の学校図書館事例集に Web 公開される ・コロナ禍とリブラリア：開館日数減少の中で工夫続く <ul style="list-style-type: none"> ①WebOPAC 構築と予約サービス開始 ②トークライブ & 動画配信企画 ③全国の県立・私立の学校図書館との連携行事「ほんトーク」中学編、高校編開催 ・図書館総合展オンラインに出展。来場者 200 名以上を越える
2021 年 (令和 3 年)	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出冊数回復：清教中は公立中の 5.6 倍 ・卒業論文「なんでやねん」の授業から『マイテーマの探し方：探究学習ってどうやるの』生まれる ・文科省「令和 3 年度学校図書館の活性化に向けた調査研究」事業実施校として指定・研究・報告 ・全国の学校図書館との連携行事「ほんトーク」、学図研ニュースに掲載 ・図書館の配架は飽和状態一層深刻化。
2022 年 (令和 4 年)	<ul style="list-style-type: none"> ・清教学園リブラリアが「Library of the Year 2022」の第二次選考対象に ・高校生への資料支援が放送大学の映像授業教材に ・卒業論文研究発表会(中学) 4 年ぶりの対面発表会を実施

【巻末特集】リブラリアの「蔵書年齢」を調べてみた

※この小論は2023年12月17日に行われた東京学芸大学学校図書館運営専門委員会による令和4年度文科省事業報告会での講演「蔵書は子どもたちがつくる:探究学習を支える学校図書館」でお話した内容をもとに作成しました。

「肌年齢」ではなく「蔵書年齢」

大阪府のある自治体で「学校図書館蔵書の3割を取り替える」、という話題があった。なかなかできない施策です。ときに、こうした施策が説得力を持つためには、「学校図書館の蔵書が古くて使えない」ということを客観的なデータとして示す必要があります。

確かに、一般的な常識として「学校図書館は蔵書が古く使えない」と言われがちです。特に廃棄基準のない学校図書館は（2007年まで清教学園もありませんでした）、毎年少しずつ新しい本が入ってきても廃棄がされない場合が多いです。すると、図書館は次第に鮮度を失い、生徒が近寄らない「書庫」になってしまいます。とはいえ、「どれくらい本が古いのか」は、「背表紙が焼けている」「ページが黄ばんでいる」といった印象としては理解できても、正確にはわかりません。

振り返って、よく使われている鮮度の指標に「蔵書新鮮度」があります。蔵書新鮮度は「その年の蔵書受入冊数÷全蔵書冊数」で表されます。この数字が高いほど、新しい蔵書の割合が高いのです。ちなみに清教学園では以前は10%前後でしたが、現在では蔵書（分母）が増えたため4.7%になっています。しかも、この蔵書新鮮度の上がり下がり、は、「新しく受け入れた本が、全体のうちどれくらいの割合を占めているのか」の指標であって、蔵書自体の新しさ（出版年）がわかるわけではありません。例えば、仮に古書店で大量に本を買って受け入れてしまえば、蔵書新鮮度は高くても出版年は古くなってしまいます。

そこで考えはじめたのが「蔵書平均年齢」です。よく化粧品や健康食品のコマーシャルに「肌年齢」「血管年齢」などという言葉があります。それならば、図書館にも「蔵書年齢」という概念があってもいいと考えました。要は蔵書の書誌データの出版年から、「蔵書古いよ。買い換えようよ」と客観的に言えるデータがつけれると思いついた訳です。

10区分で蔵書比率を見るとノンフィクションが8割

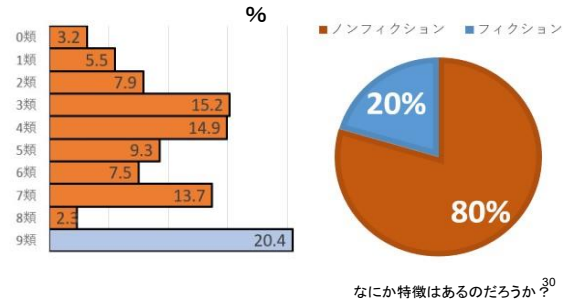
早速に清教学園リブラリアを調べてみましょう。分析対象は雑誌や書庫の蔵書を除いた開架図書約62000冊です。データの扱いをしやすくするために、分類番号を10区分にまとめて、しかも出版年と書名だけにして整理をしてみました（次ページ）。

そこからはじめに作ったのが「リブラリアの類別蔵書比率」（下右のスライド）です。左棒グラフは10区分の分類ごとの蔵書数を示しています。さらにこれをフィクションとノンフィクションに区別してみたのが右円グラフです。ノンフィクションが8割・フィクションが2割でした。全国SLAの示す「学校図書館メディア基準」の高校版ではフィクションとノンフィクションの比は約2対1でしたからさほどのズレはみられません。

開架約62000冊のデータから
グラフを作ってみました

10区分	書名	出版年
0	炎上社会を考える 自衛警察からキャンセルカルチャーまで	2022
0	超入門デジタルセキュリティ	2022
0	アルゴリズムがわかる図鑑	2022
0	司書の日	2022
0	千年の読書 人生を変える本との出会い	2022
0	読書とは何か 知を捕らえる5の技術	2022
0	はじまりはいつ今につながるくらしと文化 社会 物流は室町時代から	2022
0	これからのNFT	2022
0	開う図書館 アメリカのライブラリアンシップ	2022
0	ビタミンBOOKS さみしさに効く読書案内	2022
0	現代病「集中できない」を知力に変える読む力最新スキル大脳が超スピード化し、しかもクリエイティブに動き出す	2022
0	大学生のためのビジュアルリテラシー入門	2022
0	ブックセラピーの歴史 知識と発見を伝える出版・書店・流通の2000年	2022
0	日常生活のデジタルメディア	2022
0	アメリカの中学生が学んでいる4歳からのプログラミング	2022
0	「オーダー・タン」の誕生 だれも取り残さない台湾の天才T相	2022

リブラリアの類別蔵書比率



蔵書平均年齢は 15.4 歳

清教学園リブラリアの蔵書年齢



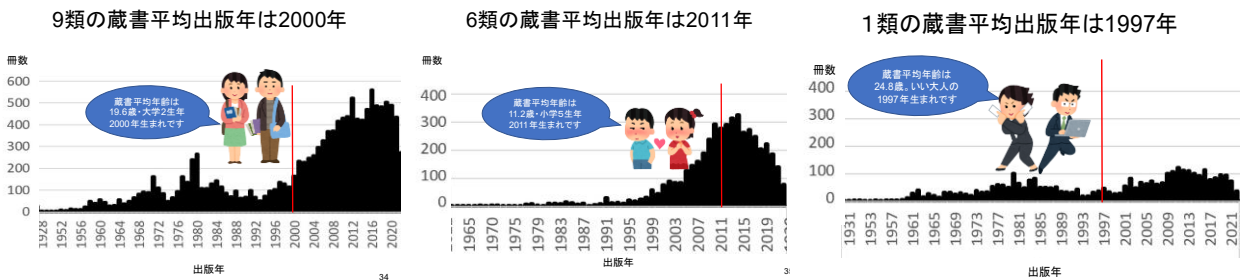
さて、最も注目したいのは「蔵書年齢」（全蔵書の出版年の平均値）です。エクセルで出版年の平均値を計算すると、2006年となりました。年齢に換算すると15.4歳、中学3年生くらいです。

もちろん出版年にばらつきはありますから、出版年ごとの現在の蔵書数を表したグラフを作ってみました。横軸が出版年、縦軸が蔵書数です。このグラフから読み取れるのは、21世紀（2001年）以降の本が全体の77%を占めているという実態です。さらに平成（1989年）以降は9割近くを占めています。これまで感覚的に「昭和の本は捨てましょう」「前の世紀の本は捨てましょう」と言っていました。実際に廃棄を繰り返した結果、平成・21世紀以降の本がかなりの部分を占めていることがこのグラフから証明できました。ちなみに、2007年から山が大きくなり出版年ごとに2000～3000冊が受入れられているのは、この時期から専任の学校図書館担当が配置され、同時に予算が増えたためです。

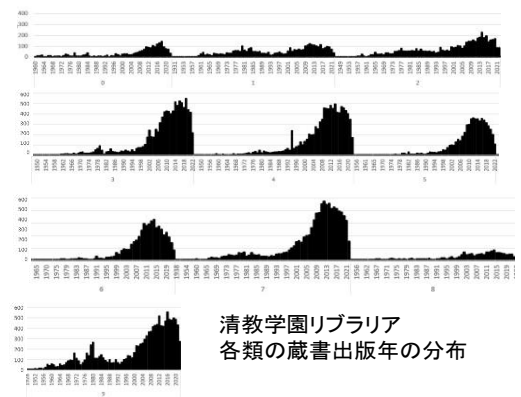
分類ごとの蔵書年齢

それでは今度は各級の蔵書年齢を見てみましょう。

最も割合の高い部分が9類（文学）です。出版年の平均値は2000年。蔵書平均年齢は19.6歳で大学生くらいでしょうか。全体の平均とはよりは4年ほど古いという結果がでました。60年代から70年代にかけてグラフに山があるのはおそらく、この時期に発行されのちに寄贈された文学全集等の影響があると思われます。次に6類（技術）です。出版年の平均値は2011年。蔵書平均年齢は11.2歳で小学校5年生。この5類が最も出版年が現在に近いです。この類は環境問題や家政の分野を含んでいるため、卒業論文などの探究学習でよく使われています。目を転じて最も出版年の早い（つまり古い）類は、1類（哲学・宗教）で平均値は1970年。蔵書平均年齢は24.8歳です。グラフの山がなだらかなのはキリスト教の本が多いからです。



ここで全体の傾向を眺めてみましょう。右図は各分類ごとに出版年と蔵書数のグラフをならべてあります。図は左上から右に0類→1類→2類とならんでいます。0・1・2・8類が少なめです。反対に多いのが3・4・5・6・7類、そして9類です。

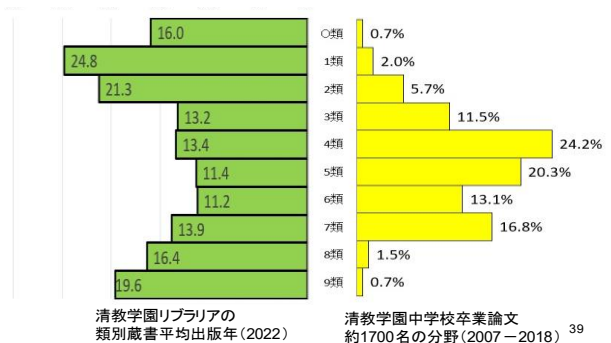


卒業論文で需要のある類の本棚が新しい

1類の棚は古い本が多く、6類の棚は新しい本が多いのはすでに述べました。では、類（棚）の新しいさは何によって決まるのでしょうか。それを考えたのが右のグラフです。

向かって左の棒グラフは類別の平均出版年です。新しい棚と古い棚がどこなのがよくわかります。一方で、右側のグラフは中学3年の2007年からの卒業論文の分野・題材がどの類に入るのかを1700名分まとめたものです。どの類の研究が多いのかがこのグラフからはわかります。

探究で需要のある分野の蔵書が「新しい」



さて、このふたつのグラフを見比べてください。左側でへこんでいる部分が、右側で飛び出しているように見えます。これは「卒業論文においてテーマになった分野（類）の本棚が比較的新しい」ということを示しています。なぜなら、卒業論文でテーマになればその分野の本が当然集中的に買われるからです。そのため、3・4・5・6・7類の本棚が若返っているのです。

学校図書館健康診断を考える

このように学校図書館の「蔵書年齢」という考え方は、本棚が探究学習のために鮮度を保って機能できるかの指標になります。つまり、「血管年齢」ではありませんが、学校図書館の健全さを示す尺度として利用できそうです。いわば「学校図書館健康診断」のための数値です。

ふりかえって「蔵書年齢」以外にも様々な健康診断項目があってもよいかもしれません。まず考慮すべきは蔵書数です。蔵書数は文部科学省から「図書館図書標準」という目安がだされています。クラス規模によって必要な蔵書数の目安が決められ、学校図書館調査の調査項目になっています。これはいわば、図書館の「体重」に当たるような数値とっていいでしょうか。右の文部科学省のグラフに見るように、大阪府は体重の足りない、つまり蔵書数が圧倒的に少ないヒョロヒョロの自治体です。こうした基準に達していない自治体に対しては、「蔵書が基準に達するまで、とにかく予算をつけよ」と働きかける必要があるのは当然です。

とは言え、先ほどから話題にしている「蔵書年齢」はこの文部科学省の調査では考慮されていません。実はこれが古い本が増える「学校図書館書庫化」の原因のひとつなのです。つまり古い本を捨てる基準を下回るので捨てられず、新しく本を買う予算もわずかで、結果として古い本が蓄積するという、まるで動脈硬化のような事態が生じているのです。文部科学省もそうした問題意識は持っているようで「令和3年度 学校図書館の整備充実について」では「図書購入率の高い都道府県」は「選定基準と廃棄基準を策定している割合」が高くなっています。要は「本を選んで捨てる基準」がはっきりしている自治体ほど、本をたくさん買っている、ということです。

「蔵書数（生徒1人あたりの蔵書数が重要）」はもちろん、「蔵書年齢」の他にも、学校図書館健康診断の調査項目は考えられて当然です。また利用統計から「1人あたりの貸出点数」なども図書館管理が電子化していれば難しいことはありません。さらに人的な項目として「学校図書館の週あたりの学校司書勤務時間」「司書教諭の授業時間減免」などは調べられてよいでしょう。

この他人的配置や予算、ICT設備、教育活動などが調査項目になるかもしれませんが、そこまで広がると話が大きくなってしまいますが、どんなかたちであれ「学校図書館健康診断」ができれば素敵です。ようは健康診断の項目が多いほど、病気の予防に役立つのと同じです。詳細な調査項目が学校図書館を健康にします。



文部科学省「令和2年度『学校図書館の現状に関する調査』の結果について」学校図書館図書標準の達成状況（都道府県別）





総合図書館 清教学園リブラリア
2022 年度事業報告

発行日:2023 年 6 月 23 日

著者:清教学園中・高等学校 図書館教育

印刷・製本:清教キャンパス

連絡先:

〒586-8585 大阪府河内長野市末広町 623

TEL 0721-62-6828

本報告の内容は、すべて学校法人清教学園に属します。
無断での複写・複製・転載を禁じます。